



【本校の教育目標】  
 ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成  
 ～やる気・気づき・根気・絆をはぐくむ安久ならではの教育～

# 「成就」 安久小学校便り

令和2年  
 6月29日発行

## 新しい命が育っています！

ツバメが、昨年と一昨年は体育館の軒先に巣を作って子育てをしていましたが、今年は管理棟の玄関先で子育てをしています。もうすぐ巣立ちを迎えます。鳥や蜂、蟻もそうですが、見事な巣を作ります。せっせと材料を運び、唾液などの分泌液を上手に利用して、不思議な模様の巣を作ります。そして、子孫を大切に育てていきます。



人も同じなはずですが、悲惨な事件や事故が新聞やTVで報道される昨今、何か見習わなくてはならないことがありそうな気がします。親鳥が餌を懸命に運んで来るのを待ちわびながら、親鳥が近付くと口を必死に開けてねだる子鳥の姿が、何とも愛らしい光景です。【気づき】

鳥は、巣立ちをするとどうなるのでしょうか。親子関係が続くのでしょうか？群れを成す鳥は、親子関係が続くのですが、単独行動をする鳥はきっとそのまま別行動をして生きるのでしょ。

人は、そうではありません。親子関係を続けながら、生涯を生きていきます。大切な人とのつながり【絆】を学びながら、また、育みながら生きていきます。

親子の愛情を幼少期に、十分に注いでいきたいものです。しかし、愛情の注ぎ方を間違ってしまうと、子どもは別な方向に進んでしまう恐れもあります。子どもにとって何が大切かを見極めながら、将来を見据えて愛情を注いでいきたいものです。時には、叱咤激励も必要です。子どもの状況を見極め、それに適した愛情の注ぎ方をしていきます。きっと、そのことが子の将来の基盤になるはずですよ。【根気・絆】

## 田植え体験

第5学年の児童が、6/19(火)の5・6校時に、全員で田植えを体験しました。御世話と指導をくださったのは、高野原自治公民館長の松山忠雄さんと保護者の八木涼太さん、福岡さんの祖父若松正實さん、オペレーター上坂さんです。他に保護者の方も10数名加勢してくださり、スムーズに田植えができました。前日、松山さん宅に納車されたばかりのAI田植え機も披露してくださり、その凄さに児童から、「わあー」という感嘆の声が上がりました。たくさんの方々の御協力を得て、このような貴重な体験ができましたことに、感謝申し上げます。【気づき・絆】下に児童の感想を掲載します。



「初めての田植え」 5年 ●●●●  
 6月16日に、初めての田植えがありました。おじいちゃんの田んぼで少しやったことはあるけど、あまり覚えていなかったの、むずかしかったです。初めてはだしで田んぼに入ったので、最初ドキドキしました。初めて入ったとき、足のひざくらいまでどろにつかりました。こんなに深いんだなと思いました。おじいちゃんの田んぼより深い気がしました。そして、いよいよ植える作業が始まりました。なえを5本ぐらいちぎって植えていきました。どのくらいまで押し込めばよいのか分からなかったの、そこがむずかしかったです。そして、もっとむずかしかったのは、20cm間かくに植えることです。真っすぐ植えているつもりでも見直してみると、自分がどの列を植えているのか分からないほどぐに

やぐにやになっていました。そして、宮崎県で2台ほどしかないGPSが使える田植え機を見せてもらいました。私たちが手で植えるよりもスピードが速くて、真っすぐきれいに植えられていました。手を放しても自動運転で植えられていてきれいでした。松山さんのお陰で、とってもいい思い出になりました。稲刈りが楽しみです。

- 「き」を大きく育てていきましょう
- ① 【やる気】 夢をもち、進んで勉強する子ども
  - ② 【気づき】 互いに助け合い、尊重し合う子ども
  - ③ 【根気】 自ら体を鍛える子ども
  - ④ 【絆】 安久を愛する子ども

「初めての田植え」 5年 ●● ●●

私、初めて田植えをしました。分からないことがあまりないように、チームで田植えの仕方などについて前日に調べました。そのおかげで、最初の説明がよく分かりました。でも、実際に松山さんに聞いてみると、調べた中にはなかったことがありました。

そして、いよいよ田植えが始まりました。私が思っていた、どろの感覚がちがいました。どろに、なかなかなれなくて、初めは「気持ち悪い。」と思いました。でも、少し経つと、どろになれてだんだん楽しくなってきました。いねを植えると、初め浅すぎてういてきました。10列以上植えました。

私、田植えをして、少し農業に興味をもちました。松山さんが、

田植え機の見学会をしてくださいました。宮崎県に、まだ1、2台しかないGPSとうさいの田植え機で植えるところを見せてもらいました。その田植え機は、人が乗ってなくてもできる自動田植え機だったのです。とてもいい見学会でした。

私は、お米が大好きです。今回、体けんをしてあらためて米の大切さ、農業の努力について分かりました。このことを考えてお米を食べると、おいしくておいしくてたまりません。家に帰ってどろを落とすのは大変だったけど、とてもいい体けんをさせてもらいました。松山さんや協力してくださった方々には、本当に感しゃしかありません。これから、もっとお米を大切にしていきたいです。

# 福祉体験学習

福祉体験学習を行いました。指導してくださったのは、市社会福祉協議会の井上優子さんと黒木雄一さん、大牟田智子さんです。新型コロナウイルス感染防止のため、例年行っている車椅子体験やアイマスク体験はできませんでしたが、障がいのある方の生活の様子を撮影したDVDを視聴しながら、生活の困難点や工夫されている点を見つけ、ユニバーサルデザインや自分たちにできること、支え合う社会づくり等について学びました。下に児童の感想とお礼の手紙を掲載します。【やる気・気づき・絆】



「ふくし体けん学習」を終えて」

3年 ●● ●●●

ぼくは、分かいてできる車いすがあるんだなと思いました。車いすを自分でほとんど動かしているから、トレーニングにもなるんだなと思いました。

車いすとかこまっている人がいるから、今度からはたすけようと思いました。お母さんたちにユニバーサルデザインを教えようと思いました。お父さんたちにも自まんをしたいなと思いました。

「黒木先生へ」

3年 ●● ●●

きのう、そう合の時間に来てくださってありがとうございました。ぼくは、車いす用の車を運んでんしているところを見て、車いすの人でもかんたんに運んできて、社会がこんなにかわっているのだなあとと思いました。

今回、黒木先生から教えていただいたけいけんをつなげて、住みよい町をぼくもつくっていきたくと思いました。

ユニバーサルデザインやピクトグラム、それにバリアフリーをもっとおぼえて、新社会に使いたいと思います。

きのうは、ありがとうございました。

# 支援訪問Aがありました!

6/26(金)に、市教育委員会の先生方が来校され、御指導いただきました。来校されたのは、市教育委員の濱田英介先生、南部教育事務所指導主事の加治屋輝昭先生、市学校教育課課長の深江祐史先生、指導主事の安影亜紀先生と桑田尚明先生です。

早朝より来校され、まず児童の登校の様子を観察されました。続いて、1校時は学校経営方針説明、2校時から5校時までには授業参観、6校時は授業ミーティングを行いました。

児童の朝の挨拶やボランティアの様子を見学され、素直ですくすくと育っていると感心していました。今回は、全ての学級の授業を参観していただき、率直な意見と指導をいただきました。新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業で、授業内容の進度が懸念されていますが、効果的な学習指導の工夫を明記して実施しました。第1学期終了までは、未履修内容がないように、全職員一丸となって「分かる授業」「できる授業」を実践しています。保護者の皆様も、家庭学習の見守りを是非お願いいたします。【やる気】

